

# 材料に関する国際学会に参加して

工学府電気電子工学専攻M1 久柴 拓也



## 研究発表について

## 明専会奨学金を受けて

平成23年6月12日～17日に沖縄で開催された宇宙環境の材料の保護に関する国際学会ICPMSE-10J (10th International Space Conference, Protection of Materials and Structures from Space Environment)に参加し、ポスターセッションを行いました。

私の所属する趙・豊田研究室では、宇宙環境に関する研究を行っています。今回の国際学会での発表は、原子状酸素発生装置に関するものです。宇宙空間には原子の状態で酸素が存在し、これが宇宙機に衝突することによる表面材料の劣化が問題になっています。そこで、原子状の酸素を地上の真空容器内で発生させてこれが材料にどのような影響を与えるかを調べるのが私の研究テーマです。今学会では、現在開発中の原子状酸素発生装置で生成される原子状酸素の量や宇宙空間で実際に作用する量をこの装置で模擬するのにかかる時間についての発表を行いました。学会では、同じ原子状酸素に関する研究を行っている団体が多数出席していたためさまざまな意見交換を行うことができました。これらは自分の研究の参考になることばかりでとても有意義なものになりました。また、NASAやJAXAといった宇宙開発の第一線で活躍されている団体の研究成果を聞くことができ、とても良い経験になりました。



会場前の砂浜

あり、とても悔しい思いもしました。英語の必要性を身を以て体験した1週間でもありました。

## 沖縄について

今年は例年より梅雨明けが1週間ほど早く6月でも昼間は30度を超える暑さでした。学会の会場は2000年に沖縄サミットが開かれた万国津梁館という所で、とてもきれいな場所でした。

## 最後に

今回の国際学会参加を通して、多



集合写真 (万国津梁館にて)

くのことを学ぶことができました。今後国際学会に出席する機会がある方は、是非チャレンジしていただきたいと思います。

また、論文作成にあたりご指導いただきました豊田和弘先生、今回奨学金を援助していただきました明専会に深くお礼申し上げます。

(平成23年9月記)